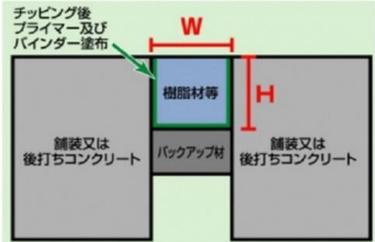


新技術・新工法

登録番号	19033	 
新技術名	ゴム劣化取替工法	
副題	橋梁用ジョイント伸縮ゴム材撤去後、樹脂材で補修する工法	
従来技術名	既設ジョイント撤去後の新設の突合せジョイント	
活用区分	—	
新技術等の区分	工法	
新技術等の分野	工程、経済性、安全性、施工性、環境	
NETIS番号	QS-180049-A	
問い合わせ先	山王株式会社 096-214-6850	

概要	<p>①何について何をする技術なのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁用伸縮継手工事において、劣化した伸縮ゴム部を撤去後、樹脂で充填する工法である。 <p>②従来はどのような技術で対応していたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設ジョイント撤去後の新設の突合せジョイント <p>③公共工事のどこに適用できるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計伸縮量が60mm以下の突合せジョイント等ゴム部分の適用が可能である。 <p>④技術のアピールポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の伸縮継手工に比べて伸縮ゴム部分のみの補修で可能な為、施工時間の短縮が図れる
特徴	<p>①従来技術の伸縮継手取替が必要なく、劣化したゴム部分を撤去し樹脂を充填するのみの工法である。</p> <p>②簡便な作業で優れた止水効果が期待できる。</p> <p>③伸縮装置本体を撤去する手間がないので、すぐに交通開放できる。</p> <p>④伸縮装置本体を撤去する必要がないので、産業廃棄物の排出が削減できる。</p>
適用可能な箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・PC橋、RC橋、鋼橋における設計伸縮量が60mm以下
施工単位等	<p>新技術 398,472円/7.2m</p>
	<p>従来技術 926,400円/7.2m</p>